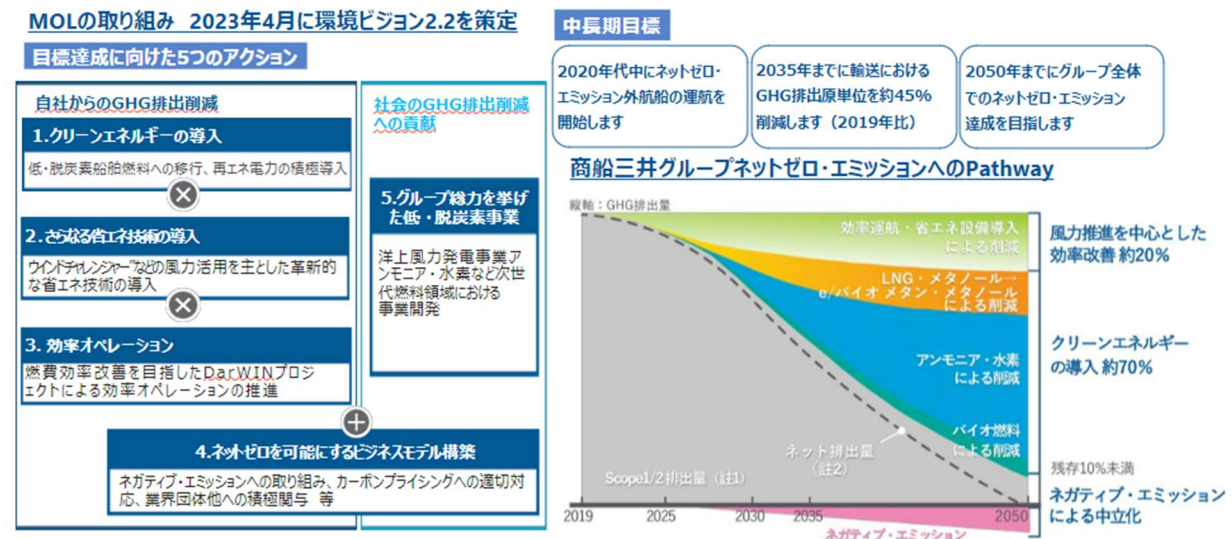


「商船三井におけるアンモニア輸送等の取り組み」

燃焼しても CO2 を排出しないアンモニアは脱炭素社会の実現に向けた解決策として注目されており、海事産業の脱炭素化に向けてもアンモニアが実現可能性の高い選択肢の一つとなりつつあります。商船三井では、船舶用燃料としてアンモニア利用への取り組みを進めると同時に、バリューチェーンの実現に向けて輸送体制の構築を進めており、当社の取り組みについてご紹介します。

①2050年までのネット・ゼロエミッション達成に向けた取り組み

2023年4月、当社は2050年までのネット・ゼロエミッション達成と、人・社会・地球の持続可能な発展を実現するための新たな道標として、「商船三井グループ 環境ビジョン 2.2」を策定しました。目標達成に向けて5つのアクションを策定し、具体的なGHG排出削減の道筋を描くことでネット・ゼロエミッション移行計画を明確化しています。



②アンモニア輸送等に関する取り組み

当社は外航船でのアンモニア輸送の実績を有していますが、今後、日本を始め世界中で燃料アンモニアの需要が拡大する脱炭素社会の実現に向けて、最適な輸送サービスを提供出来るよう、運航や貨物取り扱いのノウハウを蓄積しています。また、アンモニア輸送のみならず、輸送を中核としたバリューチェーン全体（上流～下流事業）にも参画しています。

